

2009年度

科目名	図工科教育法		
担当教員	田中 孝治		
配当	教福3	コード	23061
開期	後期	講時	火曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	小学校における図画工作科の教育法を修得する		
目的と概要	「子どもの造形」がもつ特性を、発達の過程や表現などを通して明らかにし、造形することの意義や図画工作科の本質、教育の目標を考察する。さらに、図画工作科授業指導案の作成演習や実技実習を通して、子どもの造形表現に必要な基礎的・基本的なことがらについて、その取り扱いを修得する。また、図画工作科授業を通して一人一人の子どもの表現能力を高め、その育ちをどのように伸長させるのか、学習方法について研究を進める。		
成績評価法	・学習の様子 ・提出レポート及び作品 ・自己評価 ・期末テストなどによって総合的に評価する。		
テキスト	担当者作成の学習資料を適宜提供する。		
参考書	小学校学習指導要領 文部科学省(東京書籍) 「造形表現・図画工作科・美術科」教育ハンドブック 大阪児童美術研究会(教育タイムス社)		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
回	講義		
1回	◆「図画工作科教育法」研究の意義 ・教育の課題と教育の流れ		
2回	◆図画工作科造形技法のいろいろ ・造形技法にある基本的な事柄		
3回	◆造形遊びの指導例	・造形遊びの意義と他の分野との関連を中心に	
4回	◆絵や立体に表す指導例(1)	・絵画表現の意義と発達を中心に	
5回	◆絵や立体に表す指導例(2)	・立体表現の意義と発達を中心に	
6回	◆工作的表現の指導例	・つくりたいものをつくることの意義と材料用具紹介を中心に	
7回	◆鑑賞に関する指導例	・鑑賞教育の意義とその方法を中心に	
8回	◆図画工作化授業の計画	・指導内容・計画について	
9回	◆図画工作化授業の計画	・指導案について	
10回	◆図画工作化授業の展開	・指導案の検討	
11回	◆図画工作化授業の実際	・授業演習、研究討議	
12回	◆学習指導要領と図画工作科教育	・図画工作科教育の本質と目標	
13回	◆「美術教育」の歩み	・明治から現代へ ・創造主義の美術教育	
14回	◆これからの教科教育	・学力観、教育理念	
15回	◆子どもと造形生活 ◆全体のまとめ	・成長発達、「遊び」と造形 ・図画工作科教育法で学んだことをまとめる	